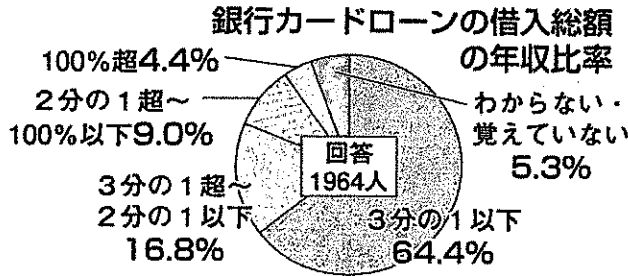


1/20
五旗

全銀協調査から作成
対象は銀行カードローン利
用者のうち個人年収がある人



銀行カードローン深刻

3割が年収1/3超借り入れ

全銀協調査

銀行カードローン利
用者の30・2%が年収
の3分の1を超える借
り入れを受けているこ
とが全国銀行協会（全
銀協）が18日に発表し
た調査で分かりまし

た。銀行カードローン
は、年14%台にもなる
サラ金並みの高金利
で、利用者には大きな負
担を強います。ところ
が利用者の4割が「銀
行だから安心」との思
いから利用していまし
た。銀行が社会的信用

を利用して、返済能力
を無視した貸し出しを
続けている実態が浮き
彫りになりました。
総額201万円以上
も借り入れしている人
は23・7%にも上りま
した。借入金の使途
（複数回答）は「日常

の生活費」が49・8%
とほぼ半数。国民の生
活苦を反映していま
す。「銀行から借り入
れ限度額の増額を提案
された」人は49・5%
に上り、銀行の強引な
売り込みぶりも明らか
になりました。

借入先の金融機関を

選んだ情報源（複数回
答）としては、テレビ
広告が58・6%と多数
を占めました。次いで
金融機関のホームページ
25・4%、インター
ネット上の広告16・4
%など。全銀協は昨年
3月に「配慮に欠けた
広告・宣伝の抑制」を
申し合わせましたが、
大量の広告が引き続き
影響力を持っているま
す。

調査対象は、銀行力
ードローン利用者20
00人。
銀行カードローンは、銀行やコンビニの
現金自動預払機から無
担保で現金を借りられ
ます。サラ金並みの高
金利にもかかわらず、
年収の3分の1以上の
貸し付けを禁止する貸
金業法の規制を受けて
いません。多重債務者
の発生や自己破産が社
会問題となっており、
日本弁護士連合会、日
本共産党などが規制
の強化を求めています。